

2022 年 3 月卒業生アンケート報告書

高千穂大学 FD 委員会

1. はじめに

本学では、例年 3 月に举行される卒業式において、卒業生に「大学での学び」についてアンケート調査を行い、卒業生がどの程度の満足度を得ているのか、改善すべき点がどこにあるのかを探り、本学での教育の質向上に役立てている。本報告書は、2022 年 3 月の卒業生を対象としたアンケート結果にもとづき、本学 FD 委員会がまとめたものである。

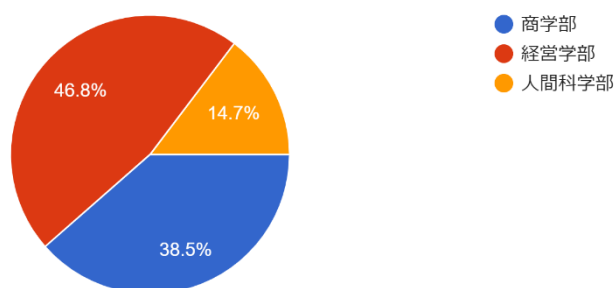
アンケート調査には、Google フォームを用いた。2022 年 3 月 20 日の卒業式に出席した学生に配布する書類の中に、Google フォームの QR コードを記した卒業生アンケート案内を含め、各自回答するよう依頼した。また、卒業式に先立ち 3 月初旬から学友会や一部ゼミを通じて、卒業予定の学生に同一の QR コードを示し、試験的に回答を依頼しており、その回答分も結果に含まれている。全体の回答数は 109 件であった。

質問項目は、所属学部を尋ねる最初の設問に続いて、大学での学びの満足度や改善すべき点を尋ねる 5 問の選択問題と、大学でできたことを尋ねる 1 問の自由記述問題からなる。各設問の結果は、以下をご参照いただきたい。

2. アンケートの結果と分析

○卒業学部について

卒業学部
109 件の回答



	回答数	全体比
商学部	42	38.5%
経営学部	51	46.8%
人間科学部	16	14.7%
合計	109	100.0%

- ・合計回答数の約 5 割を経営学部が占めている。他方、人間科学部卒業生の回答数は 16 件と非常に少なく見える。
- ・ただし、次表のように卒業生数と比較すると、およそ各学部とも 2 割前後の回答率であることがわかる。

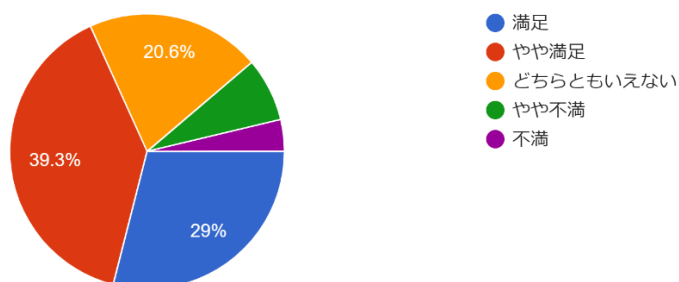
	回答数	卒業生数*	回答比
商学部	42	226	18.6%
経営学部	51	238	21.4%
人間科学部	16	76	21.1%
合計	109	540	20.2%

*2022 年 3 月 7 日現在の就職活動状況調査報告にもとづく推計値(当月在籍数－留年見込者数)

○高千穂大学への満足度

現時点で、高千穂大学に対してどの程度満足したと感じていますか

107 件の回答



	回答数	全体比**
満足	31	28.4%
やや満足	42	38.5%
どちらともいえない	22	20.2%
やや不満	8	7.3%
不満	4	3.7%
無回答	2	1.8%
合計	109	100.0%

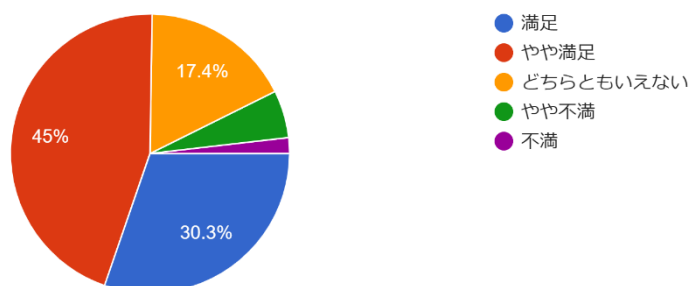
- ・「満足」と「やや満足」を合わせて 67% (3 分の 2) を超えているため、卒業生の多くが満足していると考えられる。
- ・「やや不満」と「不満」を選んだ 12 のうち、経営学部が 8 人で 66.6%相当であるため、全体の回答比に比べて、経営学部の学生はやや不満を感じている傾向にあるようだ。

** 円グラフは無回答を除く 107 件を母数とするため比率に差が生じている。

○所属学部への満足度

現時点で、卒業学部に対してどの程度満足したと感じていますか

109 件の回答



	回答数	全体比
満足	33	30.3%
やや満足	49	45.0%
どちらともいえない	19	17.4%
やや不満	6	5.5%
不満	2	1.8%
無回答	0	0.0%
合計	109	100.0%

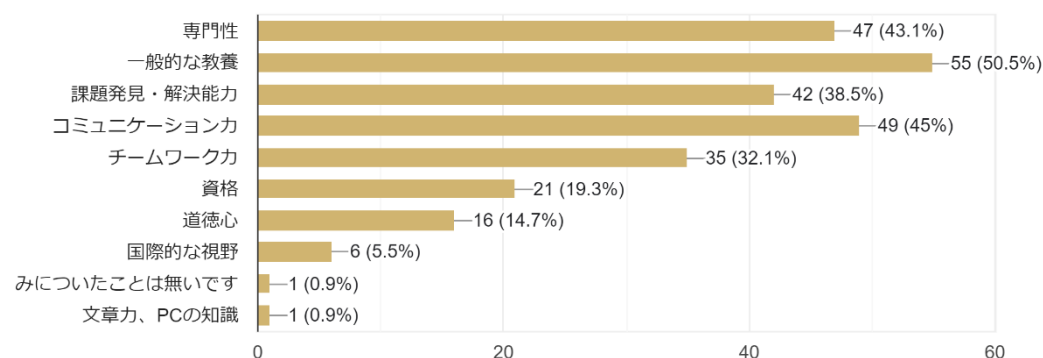
- ・「満足」と「やや満足」が 75%（4 分の 3）を占めており、卒業生のかかなり多くの数が学部教育に満足している。
- ・経営学部のみを抽出すると、以下の表となる。大学や学部と比較すると、「やや不満」と「不満」が 16%とやや高くなっており、前の設問での指摘が確認される。しかしながら、数値としては依然としてわずかな差でもあるため、全体の回答数がより多く得られたときに改めて検証するべきであろう。

	回答数	全体比
満足	12	23.5%
やや満足	20	39.2%
どちらともいえない	9	17.6%
やや不満	5	9.8%
不満	3	5.9%
無回答	2	3.9%
合計	51	100.0%

○大学で身につけたこと

大学の授業などで、どのような力を身につけることができましたか（複数回答可）

109 件の回答

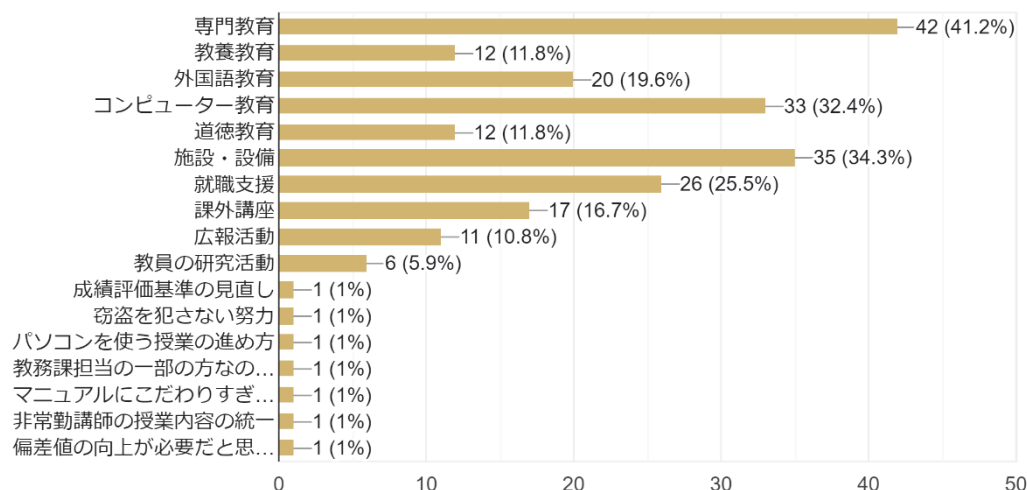


- ・最も回答が多いものは、「一般的な教養」（55 件、50.5%）である。「専門性」（47 件、43.1%）も回答が多かったため、教養と専門の両方にバランスよく教育効果が表れている。あえていえば、今後は専門性を強調してもよいのかもしれない。この点は、次の設問の答えにもよくあらわれている。
- ・「コミュニケーション力」（49 件、45%）が二番目に多い。「課題発見・解決能力」（42 件、38.5%）と「チームワーク力」（35 件、32.1%）も多いことから、本学で力を入れているゼミ活動の効果だと考えられる。
- ・他方、就職に直接的に役立つ「資格」は、19.3%に留まっている。
- ・これらの点は、本学の教育は、学生個々の全体的な力の底上げ、人間的な成長を促すものとして効果を上げており、そのことは学生自身によっても実感されている。反面、そうした無形の力（最終設問で学生の一人が「人間力」と表現している）の形成に比して、資格や専門性のようなより目に見えやすい、有形の力の形成については、今後もまだ積み上げが必要とされているといえるだろう。
- ・「国際的な視野」（6 件、5.5%）である点は、学風の目標の一つに「平和的国際人」が掲げられていることを鑑みると、改善が強く求められるべき点である。
- ・同様に「道徳心」（16 件、14.7%）が低くとどまっている点は、学風の目標の一つである「気概ある常識人」の達成のために改善が必要とされている。
- ・「その他」として自由記述できる機能を用いて、「身についたことは無いです」と非常に否定的な意見を記した者が 1 人いた。なお、この者の最終設問「大学でできたこと」の答えは、「野球」の一言であったことも付記しておく。

○大学が改善すべき点

高千穂大学がさらに充実すべき点は何だと思いますか（複数回答可）

102 件の回答

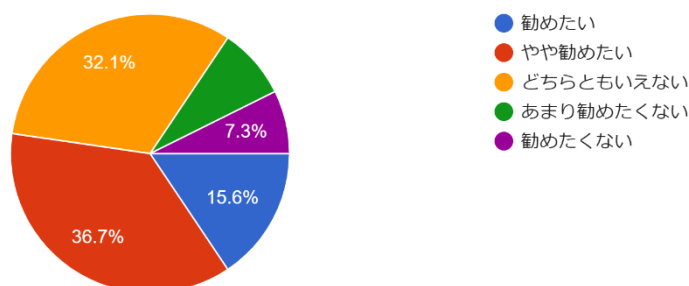


- ・この設問で最も多い回答が、「専門教育」（42 件、41.2％）であることは、上記の指摘を裏書するものであり、本学学生が「より高度な専門的教育」を求めていることを意味する。
- ・その次に高いのが「施設・設備」（35 件、34.3％）と「コンピューター教育」（33 件、32.4％）であることから、学生は今日的な技術革新への対応を強く求めていることも見える。
- ・「就職支援」（26 件、25.5％）や「課外講座」（17 件、16.7％）など、すでに重点的に力を入れ、効果が見られるものも、常に改善が求められている点である。
- ・その他の自由記述機能を用いて、個別的なコメントが見られた。「成績評価基準の見直し」は、成績評価に何らかの不満を感じていたものと考えられる。
- ・「窃盗を犯さない努力」と記入した者は、前の設問で「道德心」を選び、最後の設問で「人の物を勝手に使わない、盗まない当たり前さを自分が被害に遭いより強く学べた。」と書いている。本学構内でそのような経験があったとすれば、再発防止に努める必要がある。
- ・以下の内容は事務職員のことを指していると思われるが、「教務課担当の一部の方なのですが、電話や窓口で質問をした際の対応や接し方が非常に良くない、不快感があるというのが在学中の友人の中でも話題になっています。先ず私達の上に立つべきであるその先生方がそのように言われてしまうのは、示しがつかず、良くない事だと思います。いくら何度同じ質問をしてくる学生がいたとしても、相手が不快感を抱くような対応はすべきでは無いと思います。在学中そこが非常に気になったので、書かせていただきました。」これを記入した者は、大学と学部には「やや満足」を選んだが、次の設問で「あまり勧めたくない」を選んでいる。学生の満足度には、こうした点も関わる可能性がある。

○高千穂大学を勧めたいか

大学進学希望者がいる場合、高千穂大学を勧めたいと思いますか

109 件の回答



	回答数	全体比
勧めたい	17	15.6%
やや勧めたい	40	36.7%
どちらともいえない	35	32.1%
あまり勧めたくない	9	8.3%
勧めたくない	8	7.3%
無回答	0	0.0%
合計	109	100.0%

- ・大学や学部の満足度の表と比べると、「勧めたい」と「やや勧めたい」は53%と過半数をやや上回る程度にとどまり、「どちらともいえない」が32%と大きな割合を占めている。
- ・今回は他の設問の答えから理由を想像するしかないが、次回からは理由を直接尋ねることも検討すべきだろう。

○高千穂大学でできたこと

- ・自由記述であるため、以下に列举する。

特になし

東京教師養成塾に入塾し、教師になれたこと

自分が学びたい専門的な知識を身につけることができた。

リーダー経験

参加してみたかった課外活動に参加できたこと

小林ゼミの活動においてのみ、色々なスキルが身につき、充実してたと感じる。

ゼミ活動。ゼミがなかったら正直どうなっていたかはわからない。小林先生のおかげです。

人の物を勝手に使わない、盗まない当たり前さを自分が被害に遭いより強く学べた。

大学の環境のおかげで、金融についてより深く知ろうとしたこと

自分で進んで行動する能力。

アメフト

秘書検

論理的な文章を書けるようになったこと。物事を一つの視点からだけでなく、別の方向から見ることができ中立的な考えを持てるようになったこと。

大学卒業の認定を頂いた。

知識と教養を深めた

専攻していたマーケティングの他にも、ゼミ活動、部活動、本部活動、教職課程を経験することができた。

自分から進んで言動することができた

就職活動

自分の時間をつくりやすかったこと

友達

自立性を高めること

新たな発見

リーダーシップ

資格取得

専門的なこと

専門ゼミである永井先生に本当にお世話になりました。マーケティングの楽しさを本当に学べたので高千穂大学に入学して本当に良かったと思います。ありがとうございました。

人脈を広げられた

子どもが学びたい分野を勉強出来た

社会人になる為の知識と教養

目上の人と話せるようになった

資格の取得

大学を卒業できた。

専門知識やコンピュータ能力を深めることができました。

人間として成長出来たと思います。春からは MARCH や関関同立等自分よりたくさん勉強してきた人と同期として働きますが人間力で戦いたいなと思います。

仲間と協力して課題を解決することが出来ました。

自分で考えて行動をする

野球

コミュニケーション能力の向上

就職活動に対して意欲的に取り組むこと

大学ならではの知識を学ぶことができた。

情報系の授業、特に実習のある科目は実践で役に立つことが多く、大きな学びがありました。

留学プログラムなども充実しており、希望者にとっては十分な学習環境で学べたと思います。

他の学校と違って金融コースだけど経営の基礎について学べたりマーケティングについて学べたり様々な勉強ができた。

コミュニケーション力の取得、教養の会得

以上